

レジメン名

Pertuzumab+Trastuzumab

出典 パーজেタ+ハーセブチン併用療法 適正使用ガイド 2022年3月改訂

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

がん化学療法後に増悪したHER2陽性の
 治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・LVEFが50%未満に低下した場合、またはベースラインからのLVEF低下が10%以上となった場合 ・有害事象がパーজেタのみと関連すると考えられる場合はパージェタのみ休業(ハーセブチンのみの投与継続が可能) ・パージェタまたはハーセブチンに関連があるGrade4の非血液毒性
-----	--

1クール期間 21日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ペルツズマブ(パージェタ)	840mg/body	NS250mL	60分	day1(初回)
トラスツズマブ(ハーセブチン)	8mg/kg	NS250mL	90分	day1(初回)
2クール目以降は下記の投与量、投与速度で				
ペルツズマブ(パージェタ)	420mg/body	NS250mL	30分	day1(2クール目以降)
トラスツズマブ(ハーセブチン)	6mg/kg	NS250mL	30分	day1(2クール目以降)

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
<1クール目> day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②パージェタ840mg+生食250mL(60分) ③生食50mL(60分) ④ハーセブチン8mg/kg+生食250mL(90分) ⑤生食50mL(全開)
<2クール目以降> day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②パージェタ420mg+生食250mL(30分) ③生食50mL(30分) ④ハーセブチン8mg/kg+生食250mL(30分) ⑤生食50mL(全開)